

富士SW大会決勝スタート時の問題について

●検証事案

決勝第3レース、E&Nアンリミテッド、P600クラスに於いて、決勝スタート時に、進行のフラッグマンがコースアウトする前に、レッドシグナル点灯～ブラックアウトのタイミングが早すぎた。さらに普段使わないスタート文字の表示が出ていた。

●検証報告

上記事案を受け、緊急ロードレース委員会を開き検証いたしましたので、以下ご報告いたします。

基本的にスタートのスイッチは富士SWスタッフが担当し、MCFAJ役員がジャッジする役割分担となっています。今回の決勝ではMCFAJのレース方式に不慣れなスタッフが担当していた。MCFAJ役員とのブリーフィング不足もあり、いつもと違う表示が出されてしまった。これは四輪レース用の表示だった。

さらに今大会はタイムアタックから赤旗中断の連続により、20分以上の遅れとなるほど管制室は混乱していた。それを決勝で取り戻すための焦りも加わり、誤って早めのスイッチングとなってしまった。さらに今回は管制室にいるMCFAJ役員数が通常より少なかったため、ジャッジメント不足は否めない。

筑波の様にタワーで目視確認してスタートのスイッチを押す方式が確実なのだが、富士は管制室のモニターで確認する方式であり、カメラの位置によってはスタートフラッグマンの退出確認がしづらい面もあった。

●今後について

フラッグタワーと、管制室モニターを複数人で連携し、安全を確認しながらスタートのスイッチングする。

不適切なスタートになった場合は、速やかに赤旗中断を発令する。

MCFAJ役員とコース担当者との事前打ち合わせを徹底する。

●該当クラスの扱い

今回の該当クラスは、公正なスタートではなかったため、本来ならノーポイントとして再レースを行うべきところだが、現実的にそれは難しい。一方で最後まで闘った完走者を讃えるべきとの考えもあり、今大会の該当クラスの獲得ポイントはハーフポイントとして計上することといたします。

以上、エントラント並びに関係者に混乱とご迷惑をお掛けしました。

今後このようなミスが無いよう、注意して運営して参りますので、何卒ご理解の程お願い申し上げます。

MCFAJロードレース委員会

<BIG>								
クラス名	ゼッケン	掲載表示名	チーム名	車名	ポイント			
Eアンリミテッド					合計	R1	R2	R3
	4	吉野 倫夫	RT.Remotion	Y-YZF-R1	26	16	10	
	88	鎌田 淳	Leon & RGTT Racing	Y-YZF-R1	25.5	13	12.5	
	46	山中 正之	MCRガレージ	H-CBR1000RR	25	25		
	3	高原 昌幸	EISHINレーシング	Y-YZF-R1	20	20	0	
	2	蔵本 勝美	プライベートレーシング☆TSK	Y-FZF-R1	16.5	11	5.5	
	51	水津 英彦	Team PRIZE	BMW-S1000RR	15.5	9	6.5	
	7	中村 清隆	RT.Remotion	Y-YZF-R1	15	10	5	
	38	宮本 博光	8810R☆.desTec	BMW-S1000RR	8		8	
	10	吉岡 俊也	リリカ AMENA	K-ZX-10R	4.5		4.5	
	8	柳 一雄	TEAM WORKS	S-GSX-R1000	4		4	
Nアンリミテッド					合計	R1	R2	R3
	69	野本 修	ペンタグラム+ミシュラン	KTM-RC8R	12.5		12.5	
	11	JOHN SHAN	TEAM SHAMROCK	BMW-S1000RR	10		10	
	5	山田 博文	MOTULワールドカワグチRT	Y-YZF-R1	8		8	
	73	秋山 義見	YSP富士吉田	Y-YZF-R1	6.5		6.5	
	59	久保田 翔	M.T.BOMBER	BMW-S1000RR	5.5		5.5	
	52	山田 芳照	Leon & RGTT Racing	S-GSX-R1000	5		5	
	6	根本 秀明	カスタムレボリューション	K-Ninja1000	4.5		4.5	
	32	山口 光弘	GBS Racing+M.T.BOMBER	Y-YZF-R1	4		4	
P600					合計	R1	R2	R3
	65	瀧井 正明	チーム モトスポーツ	Y-YZF-R6	0		0	